

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回茨木市立中津小学校 学校運営協議会
開催日時	令和5年6月6日（火） 午前・午後） 10時00分 開会 午前・午後） 11時30分 閉会
開催場所	茨木市立中津小学校 4階 会議室
出席者数	8人
欠席者数	2人
開催形態	公開 ／非公開
議題（案件）	(1) 学校運営協議会について 委員会自己紹介 (2) 今年度学校概要 学校経営方針 グランドデザイン等について (3) 意見交流等 (4) 授業観察
配布資料	(1) 第1回 学校運営協議会レジュメ (2) 令和5年度（2023年度）茨木市立中津小学校 グランドデザイン (3) 令和5年度（2023年度）学校経営方針 (4) 令和4年度（2022年度）中津小学校 学校教育自己診断アンケート（保護者） 全学年の集約 (5) 茨木っ子力 ルーブリック（茨木っ子プラン ネクスト5.0より） (6) 令和5年度（2023年度）中津小学校 職員紹介 (7) 2年生町たんけんの様子（写真） (8) 1学期実施用 生活（いじめ 体罰 虐待）アンケート

議 事 の 経 過

議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(1) 学校運営協議会について 委員会自己紹介

(学校長)「第1回学校運営協議会を開催します。それでは、委員の自己紹介をお願いします。」
出席者の自己紹介を行いました。

(2) 今年度学校概要 学校経営方針 グランドデザイン等について

(学校長)「今年度の学校体制についてお伝えします。今年度、たくさんの先生が異動され、多くの新しい仲間を迎えてスタートしています。今年度の特徴的な職員構成としては、教務と児童支援が授業を受け持たない立場で様々なクラスに入り込み、フォローを行っている点と不登校や教室に入りにくい児童への丁寧な対応を心掛けている点です。通級指導教室もあります。音楽、理科、英語などの専科を置いています。初任者も二人おり、初任者指導も週に2日、配置されています。中津小としては、新しい多くの仲間と一緒に心機一転、新たな取り組みも始めやすい環境を生かしてしっかり取り組んでいきたいと思っています。

- ・児童数の紹介 今年度、全学年3クラスで、支援学級が6クラス、554名の児童が在籍しています。再来年には、新1年生が4クラスになる見込みで、緩やかに児童数が増えていく傾向です。

・学校経営方針について

具体的な8つの目標については、前年度同様4月の始業式や毎月の朝会などで子どもたちへ常に話しています。8つの目標全ては、市として推進している非認知能力の育成とつながっています。これからの社会を生きる力を育むために、本校では、非認知能力の育成や、特別活動・総合的な学習の時間の充実を意識して取り組むことに重点を置いて進めています。

学期に1回、ふりかえりの中で子どもにアンケートを取りながら、力がついたかどうかの検証を行っています。そして、1学期の活動の反省を2学期に生かせるようにしていきます。

また、確かな学力を育んでいくために、授業づくりを大事にしていきます。地域や保護者の方々へは伝わりづらいかと思いますが、子どもたちに授業の中のどこで評価をするかを伝えたり単元のポイントなどを伝えたりすることで授業者も児童も学習単位に対して見通しを持ちながら取り組めるような授業づくりを進めていきます。学年ごとに授業研究を進めることで指導と評価の一体化を目指し、取り組んでいこうと、ベクトルを合わせているところです。

・グランドデザインについて

今年度の学校経営目標は、あたたかい学校、強い学校とコロナを乗り越えてきて、今年は楽しい学校ということで、4月1日には、先生方へそれを伝え、楽しい学校をみんなで作るために、しっかり授業づくり、集団づくりに取り組もうと確認してスタートしています。

学校教育目標、学校経営目標、生活目標、めざす子ども像などを実現するための柱として、昨年度指摘を受けたことも踏まえて、どんな組織で取り組んでいるかをわかりやすく載せています。2本の柱と、4つの部と6つの部で成り立っており、教育活動を進めています。

茨木っ子力の4つの力に加えて、今年度元気力を追加しています。元気力を追加した理由としては、スポーツテストの結果から体力が本校の課題であり、グランドデザインに加えることで中津小学校の児童の体力を高めていきたいと考えています。茨木市の課題としては、握力が非常に低いことが分かっています。

今年度より、水泳指導が通常に戻ります。6月15日にプール開きがあり、夏休みの水泳指導も4年ぶりに実施します。久しぶりの夏のプールということもあり、先生方へもたくさん出てきてもらい、充実した夏のプールにしていきたいと考えています。

先日、5年生がプール開きへ向けてプール掃除をしてくれました。

体力には課題があるが、給食はよく食べてくれており、残菜も少なく食育という面では中津小の子はよく食べる元気な子どもたちです。食育も含めて、中津小学校の元気力を高めていきたいと考えています。何かよい提言があれば後ほど頂きたいです。

議 事 の 経 過

議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

次に、教頭・教務より子どもの実態を紹介します。

(教頭)「私の方からは、世間でも大きな課題として捉えられている不登校といじめについて紹介します。

・ 不登校について

コロナ過の影響もあり、全国的に急激に増えています。令和3年度の全国の不登校の人数は、24万人を超えています。24万5千人の小中学生の不登校児童がいます。小学校については、七十七人に一人の割合で不登校児童がいる計算になります。中津小については、5月現在不登校で市に報告を上げているのは8名。554人中8人で70人に一人の割合となっています。理由は様々で個々にちがいます。不登校以外にも、学校には来ているが教室に入れない児童もいます。個別の支援をしながら、できるだけ教室へ気持ちが向くように寄り添っている。学校に来られないことを、悪として捉えるだけではなく、その子の長い人生の中のほんのひと時であることを捉えながら、学校に行かないことを、一つの選択肢として受け入れている。そんな中でも、学校の楽しさや素敵なところを伝え続けることで、登校を促している。

・ いじめについて

いじめの認知件数を毎月市に報告を上げています。4月は、10件、5月は18件でした。

いじめについては、重大事案と言われるものがあります。それは、自殺に追い込まれたり、継続的に金品や財産を取られたりするものを言います。大事件が起こり、子どもの命が奪われる事件がニュースでも取り沙汰されています。このような事案が10件、18件あるわけではもちろんありません。

いじめ防止推進法の中にあるいじめの定義より、被害者が辛いと感じたらそれはどんな事例であってもしじめであるという認知の仕方をして、教職員全員で意識を高く持ち、いじめの認知をおこなっています。中津小学校はいじめゼロの学校を目指すのではなく、いじめ見逃しゼロを目指して教職員全員で意識を高めていじめに対して取り組みを進めています。その取り組みの中の一つに、いじめアンケートというものを学期に1回実施しています。このアンケートを元に、丁寧な聞き取りをしながら、見逃しゼロを目指しながら取り組んでいます。実際に、子どもに対してどのような取り組みを実施しているかを栗本の方から紹介させていただきます。」

(教務)「昨年度もなかなか教室に入れない児童が数名いました。やはり本人が一番理由をわからないことが多く、何がしんどいのかを探りながら、寄り添っていました。その中で一番大事にしていたのが、学校が安心できる場所であってほしいと思ってもらえることです。そう感じられるように、どのように寄り添っていったよいかをいつも考えながら取り組んでいました。

教室に入れない児童については、ランチルームや、保健室など教室以外の場所でその子の居場所を作っていました。給食を一緒に食べたり、学習を一緒に進めたりすることで、実際に少しずつですが、学校に気持ちが向いていった児童は増えていったように思います。

今年度からは、そういった児童が別室として使えるように「ほっこりルーム」という名前を付けた別室対応のための教室を設置しました。

低学年については、第二図書室や、保健室を利用しその子にあったスケジュールと一緒に立てたり、別メニューの学習計画を立てたりして、一緒に取り組んでいます。

教室でがんばれそうな時も、児童支援の山口、教務の栗本、スクールサポーター3名が授業に入り込みながら、支援しています。他にも、学習支援者5名を有効に活用しながら一緒に寄り添うことをたいせつにして進めています。

昨年度よりも今年度の方が、4月のスタート時点で、教室に入りづらい児童は増えている。家庭とも連携をとりながらやっています。一人一台タブレット端末を利用して、学校の担任と家庭の児童を繋いでコミュニケーションを図ったり、学校での出来事や取り組みを伝えたりすることもしています。担任も粘り強く関わってくれています。保護者の思いや児童の思いを大切にして進めています。ただ、なかなか思うように前進していないことも事実としてあります。日々悩みながら寄り添っています。」

議 事 の 経 過

議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(3) 意見交流等

(教頭)「それでは、意見交流に入りたいと思います。まずは中津小学校の子どもたちの実態を紹介させていただいた中で気になることはございませんか？」

(委員)「現在の中津小学校の不登校児童の学年別の内訳を教えてください。」

(教頭)「1年生☆人、2年生☆人、3年生☆人、4年生☆人、5年生☆人。完全な不登校ではなく、来られる日や来られない日があるという児童がほとんどです。中には、毎日来ているが、遅刻や早退をしながら、母親に連れられてきている児童もいます。全く登校できていない児童は☆人です。」

(委員)「以前朝の登校時間に子どもたちの見守りをしているとき、朝登校前に泣いていることがあります。やはり自分でも理由がわからないと言います。わからないけど学校に行きたくないと言います。何が嫌かを伝えることができないのです。」

そんな子が今年は、頑張っているのを嬉しく思っています。なぜ行きたくないのか理由がわからないのが児童の実態のように感じます。その子の本音を知ることが難しいことを私も実感としてあります。」

(学校長)「本校で決めているのは、とにかく寄り添っていこう。ということです。原因や理由を本人の課題や責任にしまうことなく、とにかく寄り添っていくことを方針として決めていて、先生方は熱心に取り組んでくれています。授業を持っていない先生についてもほぼずっと児童の対応をしています。どこまでできるかわからないが、みんなでやっていこうと同じ方向を向いて取り組んでいます。」

(委員)「私が☆☆☆☆の時に関わっていた子どもなのですが、低学年の頃ほとんど学校へ行けていませんでした。しかし、友達に誘ってもらい徐々に学校に来られるようになっていきました。初めは別室で過ごしていたが、そのうち教室にも少しずつ入れるようになってきて、高学年の時は、ほとんど教室に入れるようになり卒業式参加することができました。中学では、同じように周りの生徒の助けをもらいながら卒業していきました。高校では、自分の活躍できる場所があることを知ったようで、自分の夢を見つけそれに向かって勉強していました。大学でも福祉の勉強を続け、社会人になることができました。今でも周りの助けを上手にもらいながら生活しています。つねにだれかに関わってもらっていることを感じられるとよいということを実感しました。」

(教頭)「素敵なエピソードをありがとうございます。やはり、周りの見守りが大切で、地域の大人がみんなで子どもたちを見守っていけるような温かく確かな地域の存在が子どもたちにとって必要だということが分かりました。」

その他に、ご意見や中津小学校の児童につけたい力などはございませんか？非認知能力である、茨木つ子力のゆめ力、自分力、つながり力、学び力や、そのすべての土台となる元気力などの中で、こだわってほしいものなどがあれば教えてください。」

(委員)「私は、放課後子ども教室で☆☆☆☆を教えています。30分ほどの時間、立って活動するのですが、子どもたちは姿勢保持が10分も持たずすぐに姿勢が崩れてしまいます。近年そのような様子を顕著に感じます。子どもたちの体力が落ちてきているように感じています。」

(委員)「やはり、子どもたちの体力の低下が気になります。以前は、冬の時期に学校と相談して昔遊びをやっていました。遊びの中で地域の人と繋がる機会を増やししながら、体力も育めたらいいなと感じています。」

議 事 の 経 過

議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(委員)「私は、子ども食堂をしています、そこでは子どもたち本当によく食べてくれます。食べることも元気力の一つと感じています。食べることがいづれ体力にもつながってくれたらうれしく思います。」

(委員)「最近の子どもたちは、雲梯や上り棒など鉄棒をして遊んだりはしているのですか？」

(校長)「している子はやはり一部ですが、好きな子はスイスイ上まで登っていく子もいます。」

(委員)「私は、中津小校区で老人会の会長をしていることもあり、高齢者と児童の交流サロンなどがあればよいと考えています。一緒に遊んだり交流したりする機会があればよいなと思い、企画したいと考えています。」

(校長)「地域の高齢者と児童との交流については、以前ですが昔の生活や様子を教えてもらうインタビューをする機会を作ってやっていたこともありました。」

(委員)「地域と連携したさまざまな企画を考えていくのもよいが、スポット的なものだけではなく、定期的に取り組めるようなものは考えられないでしょうか。例えば、月1回程度あるクラブ活動のようなときに、地域の人が見守りや活動のお手伝いをしたりするのはいかがでしょうか。地域の中には、スポーツや文化的な活動の専門家もたくさんいらっしゃいます。そういった地域の人材を発掘し活用していければ、学校の先生にとっても大人の手が増えて嬉しいのではないのでしょうか。一つの案として考えてみてほしいです。」

(校長)「地域人材の活用を目指して以前に他校や中学校などで取り組みをされていたこともありますね。現在、中津小のクラブ活動は、種類が14あります。先生二人から三人で一つのクラブ活動を担当しています。ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。」

(校長)「最後に、資料として用意させていただいた写真をご覧ください。こちらは今年度すでに取り組まれた2年生のまちたんけんの様子です。中津小校区にあるお店や様々な施設を訪ねてインタビューをする活動です。事前学習を丁寧にしてから、保護者にもボランティアとして協力を得てクラスを解体し、グループを作り町探検に出かけた時の様子です。

五十鈴町のお花屋さん(SAKU)や、阪急茨木市駅、来来亭、デイサービスはなのき、東中学校、コノミヤ、郵便局、若菜屋本家茨木店、ドライビングスクール、浄福寺などに協力して頂いて、とても良い取り組みとなりました。様々な体験活動を本校でも積極的に取り入れてやっていこうとしている一つの事例です。」

(委員)「こうした様々な施設があることも中津小校区ならではのですね。」

(校長)「こうして地域の方々が受け入れてくださっていること学校としてとても嬉しく思っております。元気力や体力面での様々な提言ありがとうございました。体力向上に向けて本校でも体育の授業を中心に取り組みを進めていけたらと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。」

(教頭)「今日は、様々な提言をいただきました。また、何かアイデアがあればいつでも学校に教えてください。これで終わらせていただきます。この後、授業の様子を見ていただこうと思います。引き続きよろしくお願いします。」

(4) 授業観察

- ・ この後各学年クラスの授業風景を観察しました。